

平成 29 年度 専門課程 建設生産管理システム〔地方局官級〕研修 実施計画

平成 29 年 2 月 23 日
建設部 建設第二科

1. 研修目的

公共工事の建設生産管理システムに関する総合的・高度な知識・技術の修得、並びに幹部職員としての指導能力の向上を図ることを目的とする。

以下の点を重点項目とする。

- ① 発注者責任を果たすために必要な高度な技術・知識の修得
- ② 建設生産管理システムにおける諸施策実施の背景の理解と幹部職員としての指導能力の向上

2. 対象者

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局の技術系職員で、次のいずれかに該当する者

- ① 地方局の官又はこれと同等の職にあると認められる者
- ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者

3. 研修期間

平成 29 年 5 月 10 日(水) ～平成 29 年 5 月 12 日(金) (3日間)

4. 研修定員

区分	所属	国 土	他省庁	地方公	独立行政	団 体	計
		交通省		共団体	法人等		
平成 29 年度	計 画	19	1	—	—	—	20
平成 28 年度	計 画	24	1	—	—	—	25
	実 績	10	0	—	—	—	10
平成 27 年度	計 画	24	1	—	—	—	25
	実 績	15	0	—	—	—	15

5. カリキュラム

基本科目、専門科目、意見交換で構成する。(別紙に教科目一覧表(案)を添付)
意見交換(案)については次のとおり

建設生産管理システム(「入口」(入札・契約)から出口(工事完成)に至るまで)における各段階で、品質確保等の観点から様々な施策を提案し、議論する。

6. その他

テキスト代(予定) 17,000 円

別紙

平成29年度 専門課程 建設生産管理システム〔地方局官級〕教科目一覧表（案）

平成29年2月27日

区分	教科目	講師	時間	備考	
基本科目	1	これからの建設生産・管理システムのあり方	東京大学大学院工学系研究科教授	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 建設生産システムの流れ、経緯 これからの建設生産・管理システム
	2	講話 H28:建設事業の執行体制と法令遵守	大臣官房 技術審議官 or 大臣官房 技術調査課長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事を巡る現状と課題 官製談合防止法（高知県内の事案） 長期展望及び建設産業の課題 広報、社会資本の老朽化対策 i-construction（概要）
	3	品質確保を巡る最近の話題	大臣官房 技術調査課 建設システム管理企画室長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 建設産業の課題と対応 品質確保の最近の話題 入札契約分野を巡る最近の現状 多様な発注方式導入に向けた検討
	4	入札契約制度を巡る最近の話題	大臣官房 技術調査課 建設技術調整室長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 入札契約分野のこれまでの取り組み 入札契約を巡る現状 多様な発注方式導入に向けた検討
	小計			6.0	
	5	i-Constructionの将来	立命館大学 教授	1.5	<ul style="list-style-type: none"> i-Constructionに係る最新動向 i-Constructionの将来像
	6	インフラメンテナンス概論	総合政策局 公共事業企画調整課長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> インフラメンテナンスの施策の動向
	7	イノベーションの社会実装について	（一財）ITS+サービス高度化機構 理事長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> イノベーションの社会実装の概要
	8	新しいスマートインフラ管理システム	首都高速道路（株） 保全・交通部長	1.5	<ul style="list-style-type: none"> スマートインフラ管理システムの取り組み
	9	i-Constructionの実践	（株）砂子組	1.0	<ul style="list-style-type: none"> i-Constructionの実践（先進的な取り組みと現場から見た今後の普及に向けた課題等）
	小計			7.0	
意見交換	10	意見交換	大臣官房 技術審議官	2.5	
	小計			2.5	
その他	11	入校式・修了式・その他	国土交通大学校 総務部教務課、建設部	1.5	
	小計			1.5	
合計			17.0		